

3回
連続講座

2026 受講生募集

参加
無料



はーとふる講座

～人間力UP あたたかさとやさしさ～

会場：瀬戸田市民会館（多目的ホール）

定員
50人

第1回

7月18日（土）13:30～15:30

演題

『ネット人権侵害と部落差別』
～「寝た子」はネットで起こされる！?～

講師

川口 泰司 さん
＜一般社団法人 山口県人権啓発センター事務局長＞



第2回

8月29日（土）13:30～15:00

演題

『出会いに生かされて』

講師

加藤 りつこ さん
＜広島と福島を結ぶ会代表＞



第3回

9月26日（土）13:30～15:00

演題

『自分らしく笑顔で心豊かに生きる』

講師

鹿見 勇輔 さん
＜介護芸人（めぐみエンターテインメント所属）＞



申込方法

尾道市因島ふれあいセンターへ電話、FAXまたはEメールにより、住所・名前（ふりがな）・電話番号をご記入（連絡）のうえ、申し込んでください。

TEL/FAX (0845) 24-2160

※電話の受付は8:30～17:15（土・日・祝を除く）

Eメール innoshima.jinkenbunka@city.onomichi.hiroshima.jp

主催：尾道市人権男女共同参画課/はーとふるネットせとだ

講師の紹介

かわぐち やすし
川口 泰司 さん

＜一般社団法人 山口県人権啓発センター事務局長＞

1978年愛媛県宇和島市の被差別部落に生まれる。中学時代、同和教育に本気で取り組む教員との出会いから解放運動に取り組むようになる。大阪の大学を卒業後、社団法人部落解放・人権研究所、社団法人大阪市新大阪人権協会を経て、2005年より一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長として活躍している。全国各地での講演会や出版、新聞やテレビ・ラジオなどのメディアでも部落問題について積極的に発信している。

2023年にNNNドキュメントで放送された川口さん主演のドキュメンタリー番組『いろめがね一部落と差別一』は「2023年日本民間放送連盟賞」、「2023年11月ギャラクシー賞」などを受賞した。

最近の主な著書『寝た子はネットで起こされる！？』（公益社団法人福岡県人権研究所、2023年6月）

かとう
加藤 りつこ さん

＜広島と福島を結ぶ会代表＞

1995年1月17日未明に発生した阪神・淡路大震災で、一人息子（当時神戸大学法学部2年、21歳）を亡くす。生きる気力を失い、茫然自失の日々をさまようなかで、息子が大学入学時に母親宛てに書いた手紙が、彼の死後マスコミで紹介され全国で反響をよび、各方面からの依頼で講演活動が始まる。

また、その手紙と偶然に出合って衝撃を受けて曲をつけた音楽家・奥野勝利さん（2022年9月に死去）と2008年に出会い、2人でコンサートと語りのジョイントも行ってきた。2012年4月、「広島と福島を結ぶ会」を設立し代表となる。

しかみ ゆうすけ
鹿見 勇輔 さん

＜介護芸人（めぐみエンターテインメント所属）＞

1986年2月17日広島市生まれ。めぐみエンターテインメント（有限会社めぐみ）所属。地元・広島の高校を卒業後、よしもとクリエイティブ・エージェンシーNSC東京校（11期生）になるが、中途退学。その後、広島に戻り、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、主任介護支援専門員の資格を取得する。

2013年9月、デイサービスでの敬老会で落語を披露したことをきっかけに、お笑い芸人としての活動を再開。公民館や老人会、幼稚園、介護施設などで落語会やお笑いライブを企画・運営し、地域に密着した活動を行っていたところをテレビ局に発見され、「介護芸人」と名付けられた。それ以降、介護支援専門員としての立場を活かして、保健・医療・福祉・介護に関する専門的な情報を含めながらネタを作り、舞台に立ち続けている。その他、福祉、介護専門職として講演会活動を積極的に行っている。